【樹木の部屋】

イトラン（キジカクシ科イトラン(ユッカ)属　Yucca filamentosa ）

和名：イトラン(糸蘭)　別名：　　英名：Adam’s needle

キジカクシ目　常緑低木　　原産地：北アメリカ

花言葉：男らしい、戸惑い　　花色：白

← 写真-１ イトラン
撮影日：2015 年 07 月 11 日
撮影場所：サンヴァンサン
(イタリア)にて
撮影者：M　さん

↓ 写真-２ イトランの花
撮影日：2015 年 07 月 11 日
撮影場所：サンヴァンサン
(イタリア)にて
撮影者：M　さん

イタリア北部の街、サンヴァンサンで宿泊したホテルの前庭で見かけました。サンヴァンサンは、マッターホルン南壁が観賞できるチェルヴィーノへの入り口の街です。

一見、ユッカランに似た植物でしたが、葉の様子が異なりました。堅い、先端が鋭利な葉ではなく・・。先端は尖っていますが、葉肉厚は薄く、途中で折れ曲がっていました。しかも茎が無く地際から叢生していました。

イトランは、葉は剣状で、先端は鋭く尖り、灰緑色の厚い革質で、縁の繊維がほぐれて糸状になり、葉は先がやや垂れ下がります。イトランの名前の由来は、糸状になるところからだそうです。
6〜7 月頃、花茎を伸ばして円錐花序を作り、六弁の釣鐘状で芳香のある白い花を下向きに咲かせます。

＜ちょっと一言＞
ユリ目リュウゼツラン科ユッカ属で記載されている書物もあります。